

沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学・統計解析委員会

【現状】

新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（3月14日-20日）の新規陽性者数は、4,504人（先々週 4,496人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における先週の実効再生産数(R)^{*1}は1.02 [最小値0.36-最大値1.41]、このうち那覇市は1.08 [0.60-1.74]でした。また、宮古は1.10 [0.29-3.19]、八重山は0.93 [0.50-1.24]でした（図1）。全県的に流行は下げ止まったまま推移しています。

^{*1}：最終日を除いた直近7日間における日別推定値（平均値）の平均値。[]内は、直近7日間における日別推定値（平均値）の範囲（最小値から最大値）を表す。

年齢階級別推移

年齢階級別では、10代が920人（20%）と最多であり、20代799人（18%）、30代684人（15%）と続きます（図2）。先週に引き続き10代が最多であり、さらに20代が増加傾向となっています（図3）。一方、高齢者については減少傾向が続いています。

幼年・若年層

学校別では、保育・幼稚園児142人（先々週175人）、小学生466人（先々週604人）、中学生226人（先々週181人）、高校生214人（先々週260人）でした。中学生以外は減少しています。保健所による疫学調査によると、いずれの層でも家庭内感染が最多であり、次いで、友人が多くなっています（図4）。

保健所管区別・市町村別推移

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部228人（先々週222人）、中部1,731人（先々週1,869人）、那覇市1,098人（先々週934人）、南部1,194人（先々週1,194人）、宮古83人（先々週79人）、八重山145人（先々週144人）でした（図5）。どの医療圏においても、横ばいで推移しています。

人口1万人以上の市町村別（人口10万人あたり7日間合計）では、多い順に恩納村542（先々週343）、北谷町402（先々週365）、金武町395（先々週492）でした（図6）。

なお、県外からの渡航者は34人（先々週53人）であり、このうち東京都6人、大阪府5人、神奈川県5人でした。また、大学生の旅行者が8人を占めており、今後、春休みに向けて増加する可能性があります。

入院患者数推移

入院患者数は、先週末（3月20日時点）で153人と1週間前より44人減少し、酸素投与など中等症患者は81人と1週間前より42人減少しています。また、気管挿管など重症患者は2人と1週間前より1人増えました（図7）。この他、社会福祉施設で療養されている陽性者が、先週末（3月13日時点）で12施設に30人おられ、1週間前より38人減少しています。

なお、先週末（3月20日時点）における病床占有率は、沖縄本島24.9%、宮古地区9.1%、八重山地区25.0%となっています。高齢者の新規陽性者の減少が続いていることから、現在は受け入れ病床に余裕があります。

【学校 PCR 検査事業の分析】

2022年1月1日から3月11日までの学校 PCR 検査事業の結果をまとめました。この事業は、保育園・幼稚園、小学校、中学校、高校、そして学童クラブの生徒や先生に陽性者を1人でも認めたとき、原則としてクラス全員の PCR 検査を実施することとしているものです。

ただし、第6波においては、検査体制が追い付かなかったため、実施範囲が限定された時期がありました。また、検査の時期によっては感染していても検査陰性となるため、この分析は全ての感染者を同定したのではなく、感染者数を過少に評価している可能性があります。

保育園・幼稚園

700件の陽性者発生があり、内訳は、職員 288件、園児 330件、不明 82件でした。

のべ 17,912 人に検査を実施し、陽性者 510 人（陽性率 2.8%）を確認しました。このうち保健所定義による濃厚接触者が 11,157 人で、陽性者 378 人（陽性率 3.4%）でした。一方、濃厚接触者を除く接触者 6,755 人では、陽性者 132 人（陽性率 2.0%）でした。

1 件あたりの二次感染数は 0.73 人[1Q-3Q: 0.00-1.00]でした。なお、職員がインデックス・ケース（最初の症例）の場合は 0.62 人[1Q-3Q: 0.00-1.00]であり、園児がインデックス・ケースの場合は 0.68 人[1Q-3Q: 0.00-0.00]でした。

700 件のうち、この検査事業で園内感染を確認したのは 208 件（29.7%）でした。このうち 5 人以上の集団感染は 30 件（4.3%）であり、10 人以上の集団感染は 4 件（0.6%）ありました。

小学校

167 件の陽性者発生があり、内訳は、職員 22 件、生徒 115 件、不明 30 件でした。

のべ 3,580 人に検査を実施し、陽性者 66 人（陽

性率 1.8%）を確認しました。このうち保健所定義による濃厚接触者が 1,283 人で、陽性者 33 人（陽性率 2.6%）でした。一方、濃厚接触者を除く接触者 2,297 人では、陽性者 33 人（陽性率 1.4%）でした。

1 件あたりの二次感染数は 0.40 人[1Q-3Q: 0.00-0.00]でした。なお、職員がインデックス・ケース（最初の症例）の場合は 0.27 人[1Q-3Q: 0.00-0.00]であり、児童がインデックス・ケースの場合は 0.41 人[1Q-3Q: 0.00-0.00]でした。

167 件のうち、この検査事業で学校内感染を確認したのは 36 件（21.6%）でした。このうち 5 人以上の集団感染は 2 件（1.2%）でした。

中学校

89 件の陽性者発生があり、内訳は、職員 11 件、生徒 69 件、不明 9 件でした。

のべ 2,157 人に検査を実施し、陽性者 46 人（陽性率 2.1%）を確認しました。このうち保健所定義による濃厚接触者が 767 人で、陽性者 28 人（陽性率 3.7%）でした。一方、濃厚接触者を除く接触者 1,390 人では、陽性者 18 人（陽性率 1.3%）でした。

1 件あたりの二次感染数は 0.52 人[1Q-3Q: 0.00-1.00]でした。なお、職員がインデックス・ケース（最初の症例）の場合には二次感染を認めず、生徒がインデックス・ケースの場合は 0.57 人[1Q-3Q: 0.00-1.00]でした。

89 件のうち、この検査事業で学校内感染を確認したのは 23 件（25.8%）でした。このうち 5 人以上の集団感染は 1 件（1.1%）でした。

高等学校

69 件の陽性者発生があり、内訳は、職員 6 件、生徒 56 件、不明 7 件でした。

のべ 869 人に検査を実施し、陽性者 36 人（陽

性率 4.1%)を確認しました。このうち保健所定義による濃厚接触者が 487 人で、陽性者 27 人（陽性率 5.5%）でした。一方、濃厚接触者を除く接触者 382 人では、陽性者 9 人（陽性率 2.4%）でした。

1 件あたりの二次感染数は 0.52 人[1Q-3Q: 0.00-1.00]でした。なお、職員がインデックス・ケース（最初の症例）の場合には二次感染を認めず、生徒がインデックス・ケースの場合は 0.54 人[1Q-3Q: 0.00-1.00]でした。

69 件のうち、この検査事業で学校内感染を確認したのは 20 件（29.0%）でした。このうち 5 人以上の集団感染は 2 件（2.9%）でした。

考察

小学校、中学校、高校では、校内で陽性者が発生しても本事業で二次感染を認めるのは 3 割以下であり、1 件あたりの二次感染数は 0.5 人前後となっています。また、学校における先生からの感染リスクは、生徒よりは低くなっています（図 8）。5 人以上の集団感染となる事例はありますが、全体の 1～3%にすぎません（図 9）。

保健所による疫学調査でも、子どもたちの感染経路は、家庭内が最多であり、次いで交友関係、課外活動となっています。実のところ、学童クラブ、

リトルリーグ、空手教室、水泳教室、ダンススクールなどにおける感染リスクが高く、学校よりも重点的に対策すべきと考えられます。

ただし、保育園・幼稚園における二次感染数は 0.73 とやや高く、集団感染のリスクも学校と比すれば高くなっています。また、保育士からの感染リスクも園児と同様に高いと考えられます。よって、保育園・幼稚園については、学校よりは強めの感染拡大防止策が求められます。

保健所の定義により濃厚接触者を同定したとしても、その 9 割以上が感染者ではありません（図 10）。また、確認された陽性者の 7 割は濃厚接触者でしたが、3 割はその他の接触者でした。濃厚接触者への出席停止にも一定の効果があると考えられますが、必要以上に教育の機会が失われている可能性についても配慮が必要です。

学校内の流行への介入として、濃厚接触者への出席停止の他に、クラス全員に迅速に検査を実施して、陽性者に出席停止を求める方法も考えられます。この場合、結果が陰性であったとしても、本人に症状があれば休ませることが前提となります。なお、これは二次感染が少ない学校における対応の考え方となります。同居しているなど家庭内における濃厚接触者については、検査結果によらず 7 日間の自宅待機を県は求めています。

【今後の見通しと対策】

沖縄県では、新規陽性者数は横ばいで推移していますが、先週はアクティブな 20 代において増加してきています。これは新たな流行の前兆と捉えることも可能です。

一方で、ワクチンの 3 回目接種が進んできたこともあると考えられますが、70 歳以上の高齢者の新規感染は減り続けています。このため入院医療への負荷は限定的となっています。先週は 4,504 人の新規陽性者を認めましたが、このうち新規入院患者は 101 人（入院受療率 2.2%）に過ぎません。このため、新型コロナ病床の占有率は 25%以

下となっています。

ただし、救急受入重点医療機関における新型コロナ以外の一般病床の病床利用率は、沖縄本島 95.8%、宮古地区 74.6%、八重山地区 74.2%と極めて高い状態が続いており、地域医療全体のバランスをとった医療提供体制が求められています。

春の訪れは多人数での交流を活発にします。送別会や春休みににおける移動の増加により、今後は感染拡大する可能性が高いと考えられます。今週の新規陽性者数は、4,000-6,000 人と見込まれます。また、今週末までに入院患者数は 180-200 人に至

り、うち重症患者数は1人前後と見込まれます(図11)。感染力が強いとされる「BA2」系統のウイルスへの置き換わりが進んだ場合には、さらに増加することも考えられます。

今後も、高齢者や基礎疾患を有する者、肥満、妊婦の一部など重症化リスクの高い方々を守り、とくに高齢者施設（デイサービスを含む）における集団感染を回避することが重要です。とくに、友人たちと懇親会を催した数日後に、親族との送別会を企画している場合には要注意です。高齢者が参加する場合はとくに、事前にPCR検査で陰性を確認することを強くお勧めします。身近にPCR検査を受けられる場所がない場合には、イベント当日に医療用の抗原定性検査キットで陰性を確認してください。

また、春休み期間中に、親族などの訪問（帰省）や会食を予定されている高齢者、基礎疾患を有する方、そして肥満のある方などは、できるだけ3回目のワクチン接種を終わらせるようにしてください。

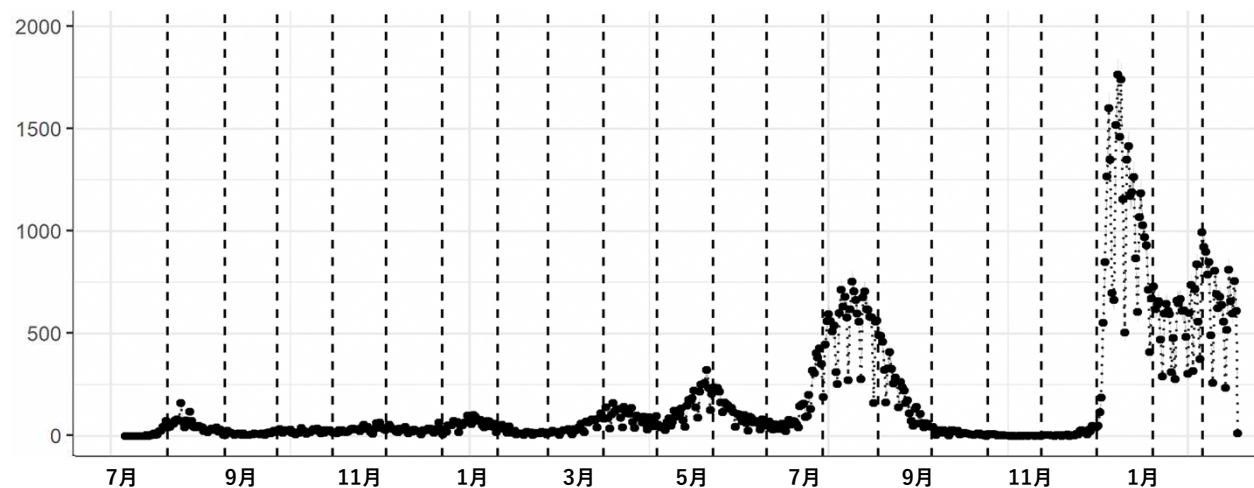
一般無料検査について（沖縄県ウェブサイト） https://www.pref.okinawa.jp/site/chijiko/kohokoryu/pcr-test/free-test/index.html
--

図1 陽性者数の推移と実効再生産数（北部、中部、南部）

陽性者数（確定日）

日あたり観察値

北部、中部、南部医療圏
（宮古・八重山を除く）



実効再生産数

直近7日間平均値

北部、中部、南部医療圏
（宮古・八重山を除く）

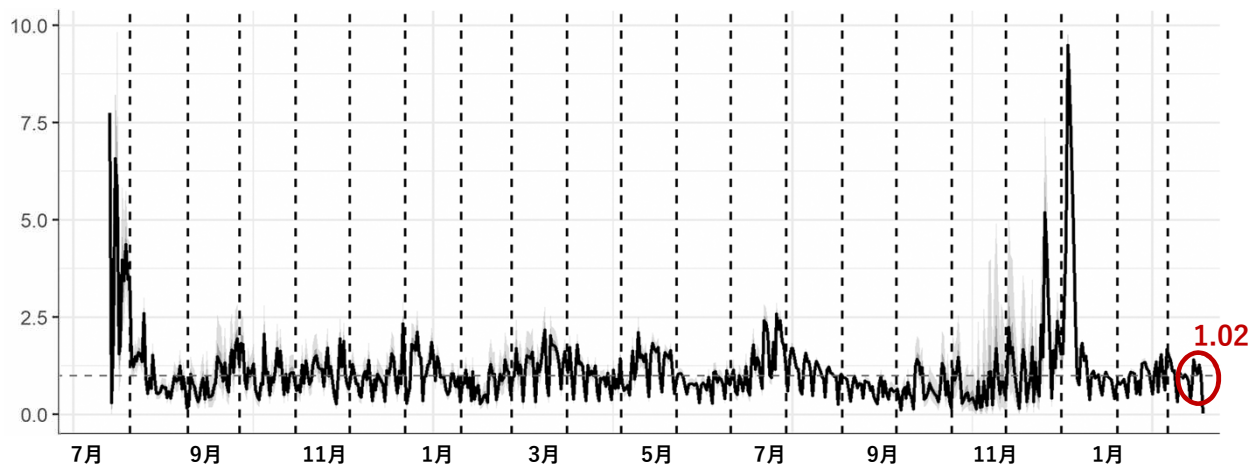


図2 性年齢階級別にみる陽性者数（3月14日～20日）

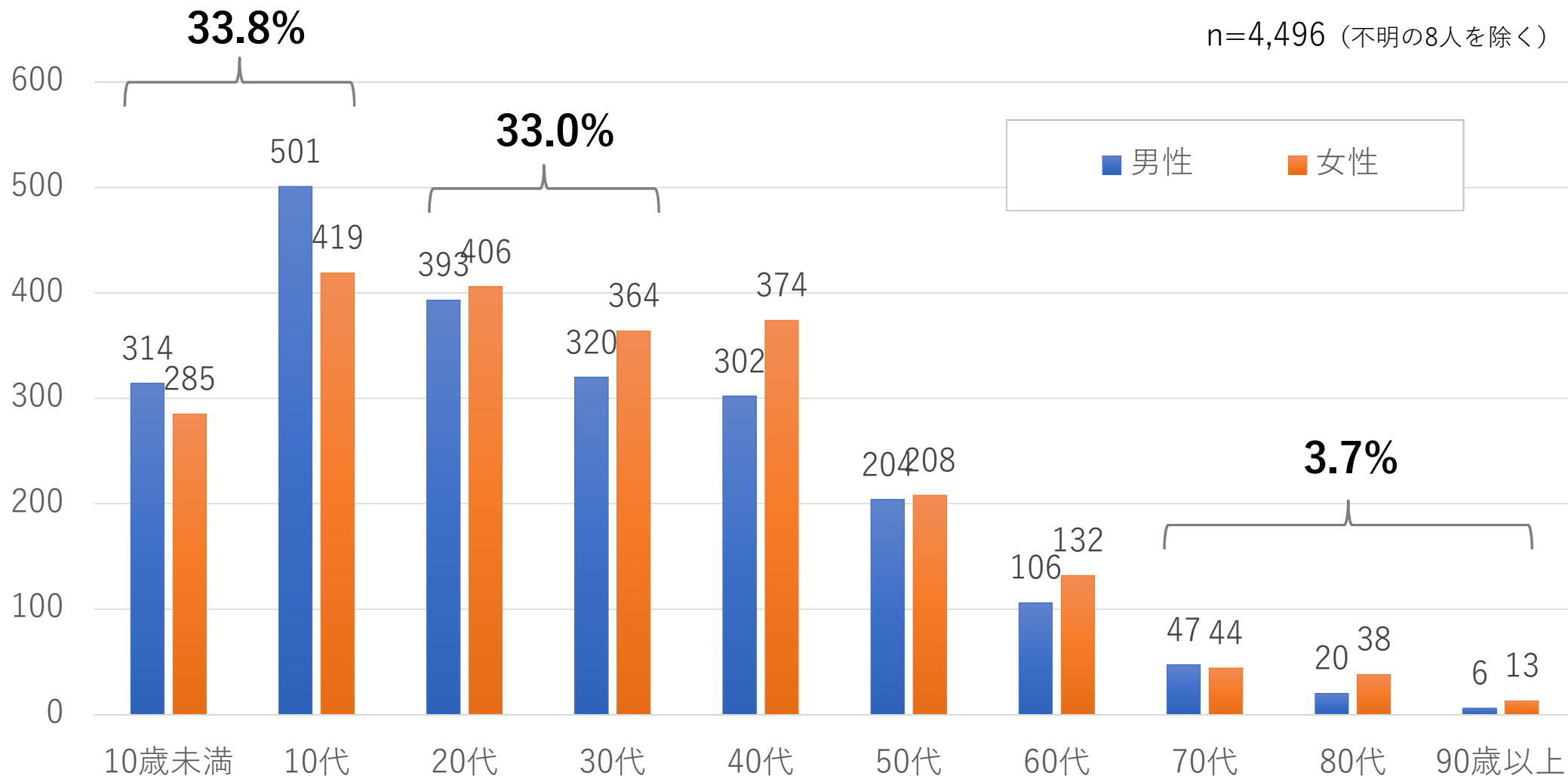


図3 年齢階級別にみる陽性者数の増減率

増減率 = 2022年3月7日～13日 / 2022年3月14日～20日

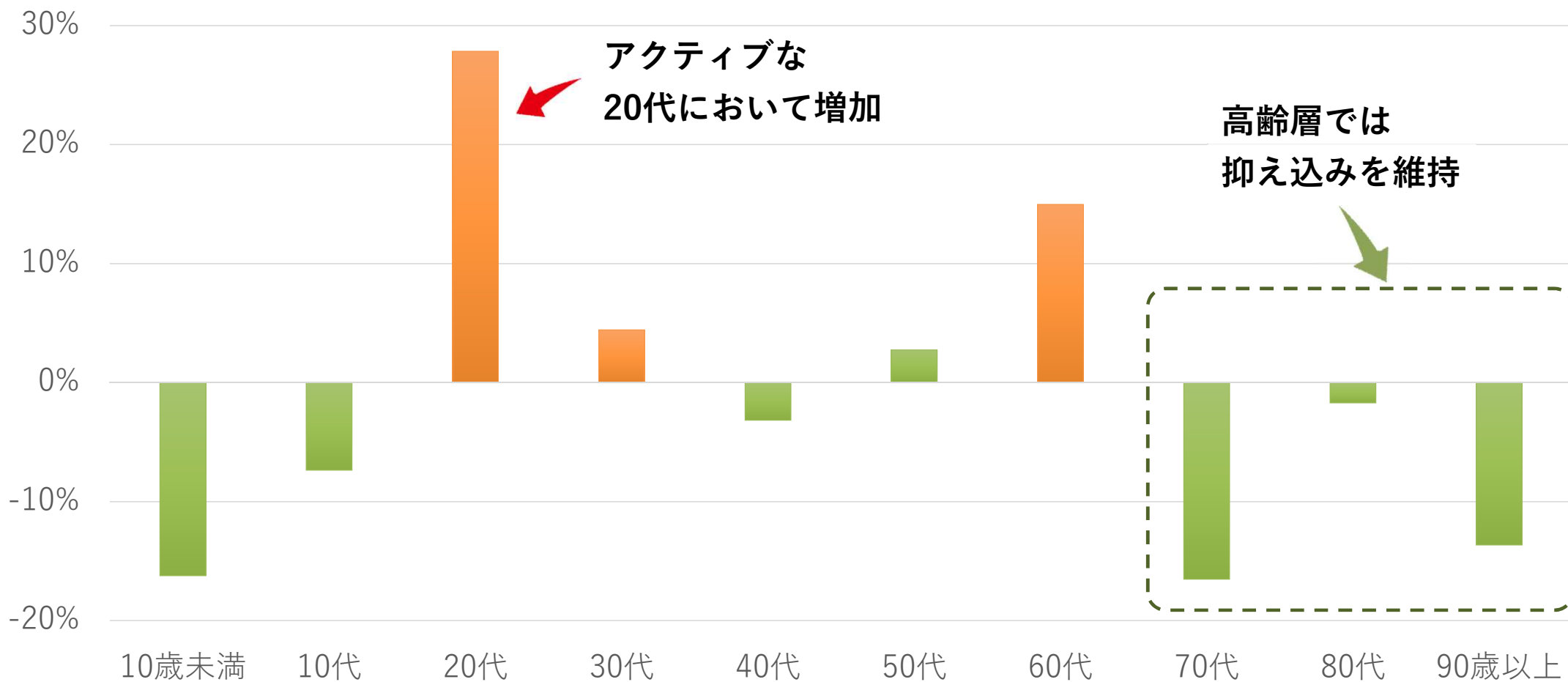


図4 幼年・若年層における推定感染経路（沖縄県）

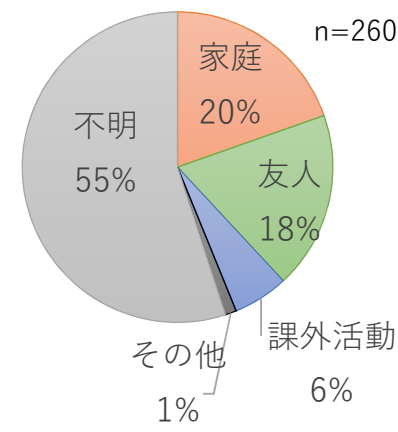
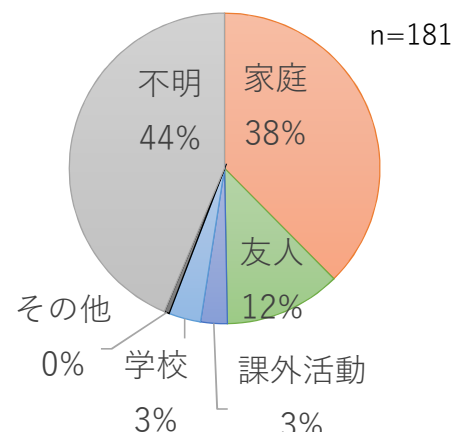
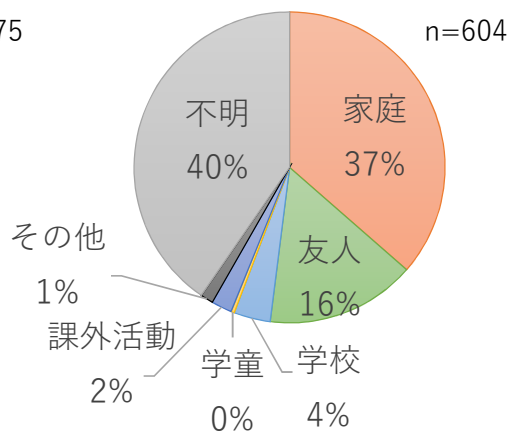
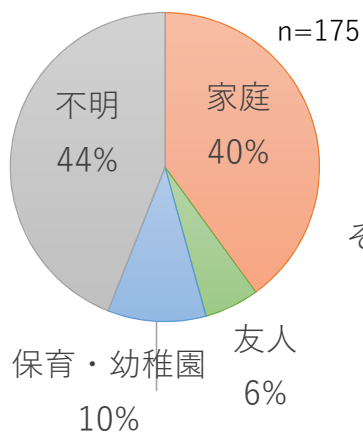
保育・幼稚園児

小学生

中学生

高校生

3月7日～13日



3月14日～20日

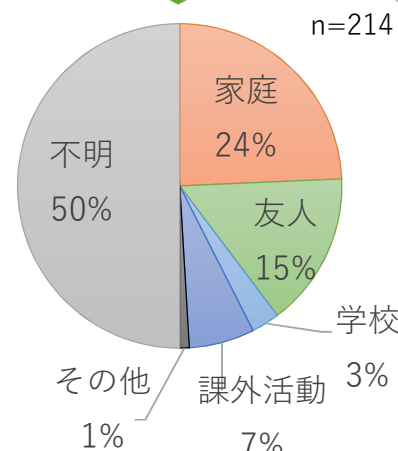
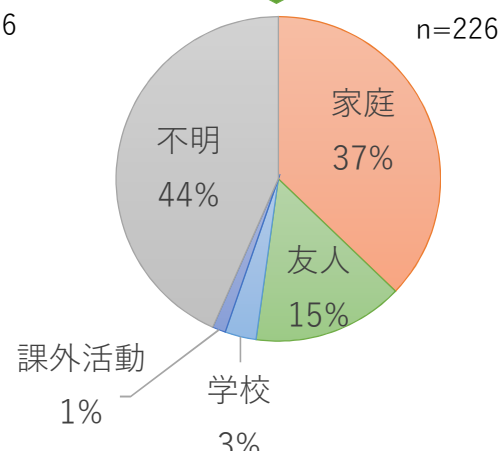
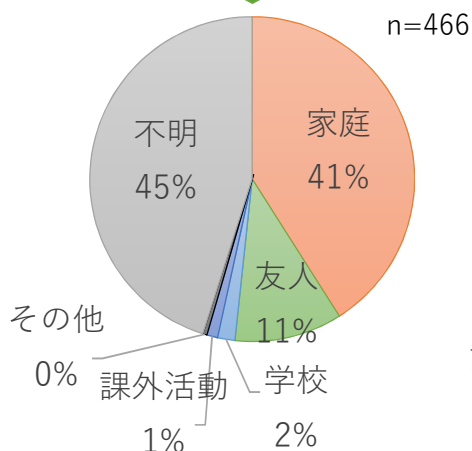
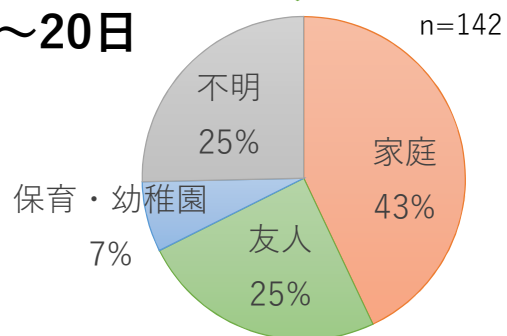


図5 保健所管区別にみる新規陽性者数の推移（沖縄県）

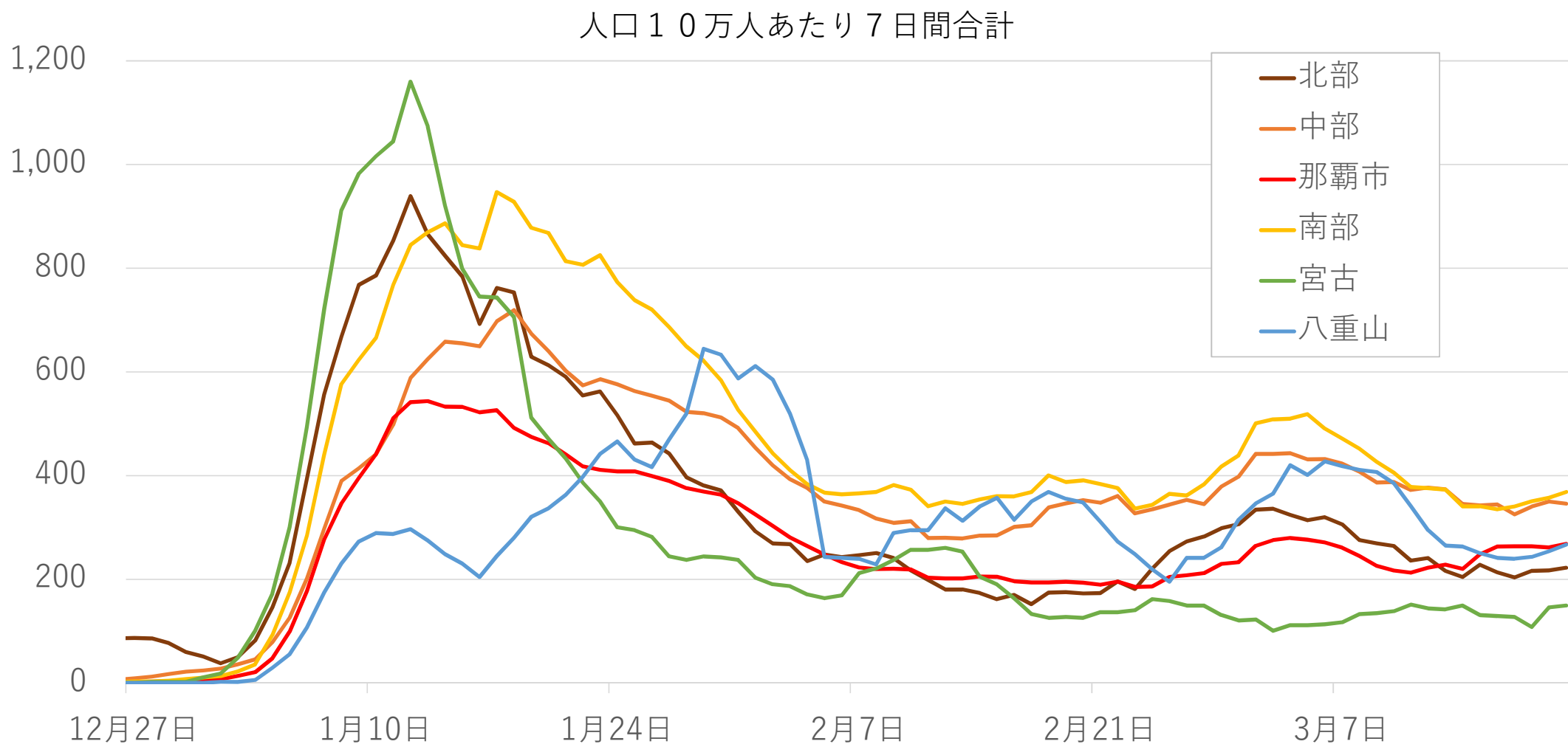


図6 沖縄県・市町村別ヒートマップ（3月14日～20日）

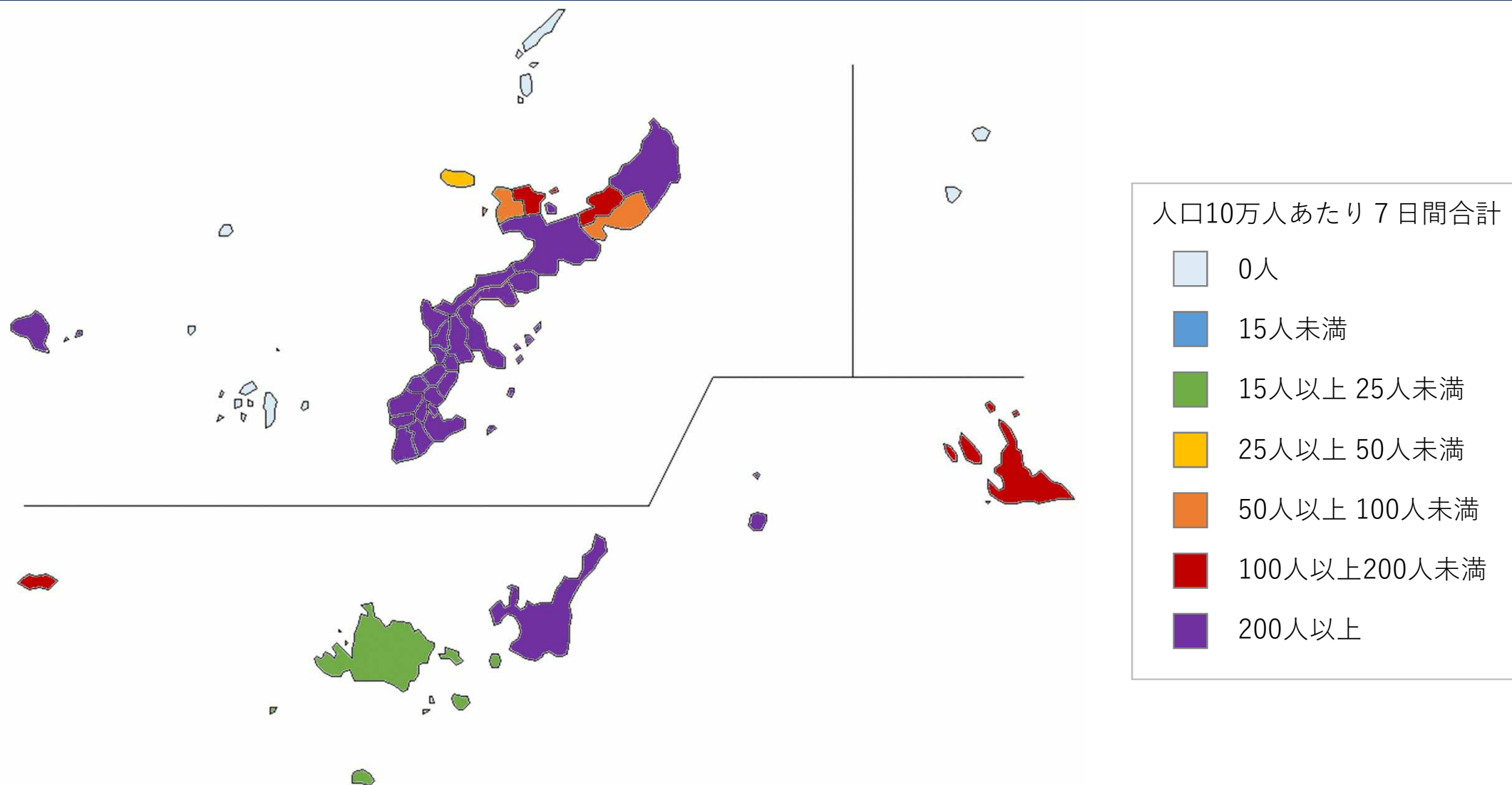


図7 重症度別入院患者数と施設療養者数の推移

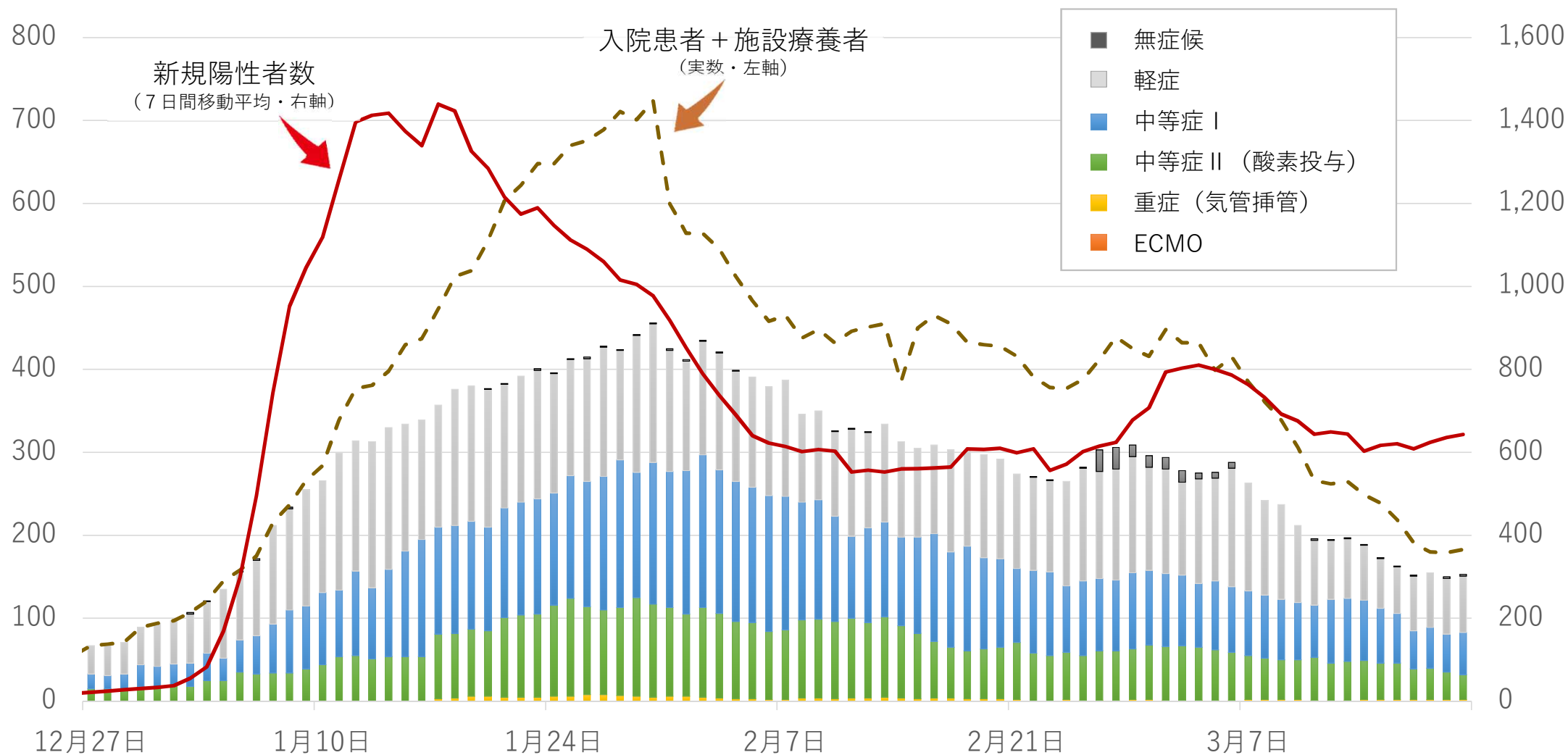


図 8 陽性者発生 1 件あたり二次感染者数（沖縄県学校PCR検査事業）

2022年1月1日～3月11日

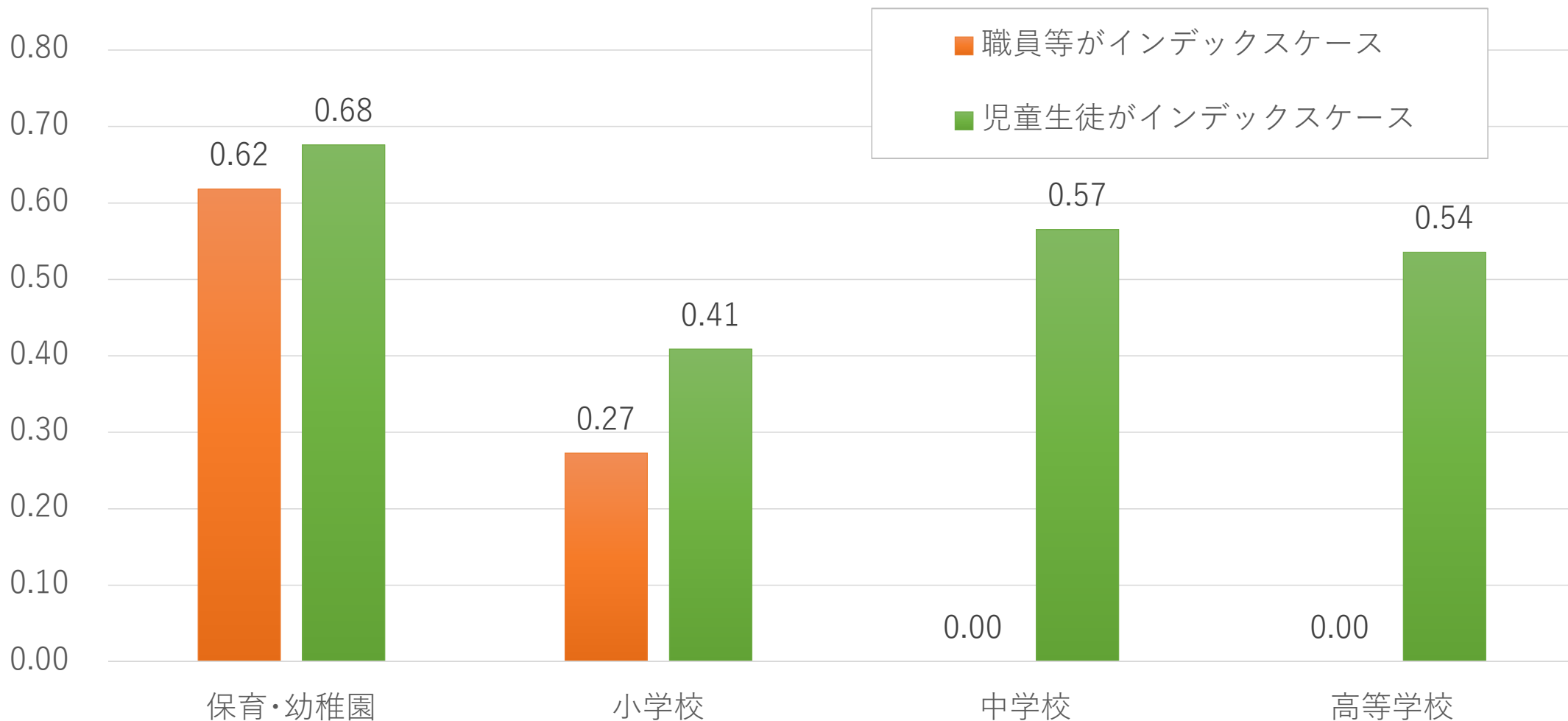
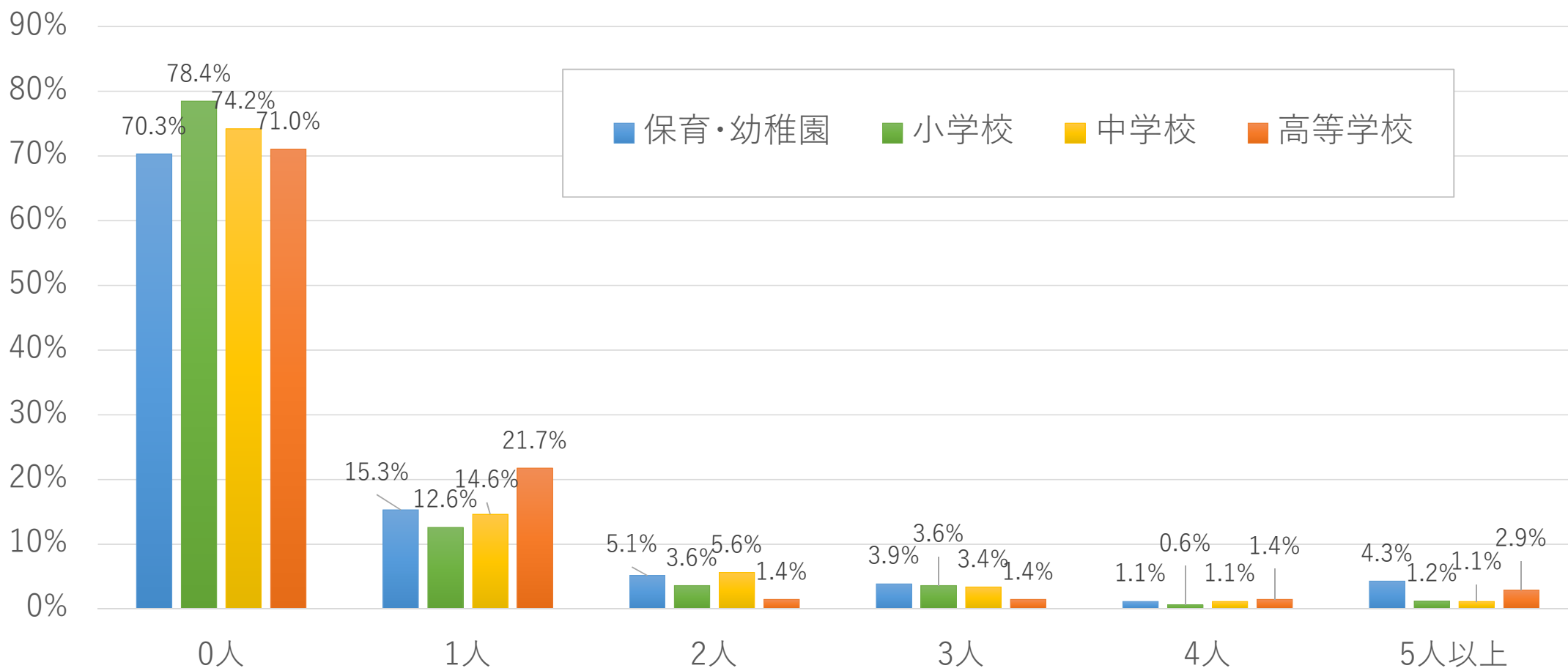


図9 二次感染者数別にみる発生頻度（沖縄県学校PCR検査事業）

2022年1月1日～3月11日



学校内で陽性者を認めたのち、本事業によりを確認した感染者数

図10 学校内における接触者の陽性率（沖縄県学校PCR検査事業）

2022年1月1日～3月11日

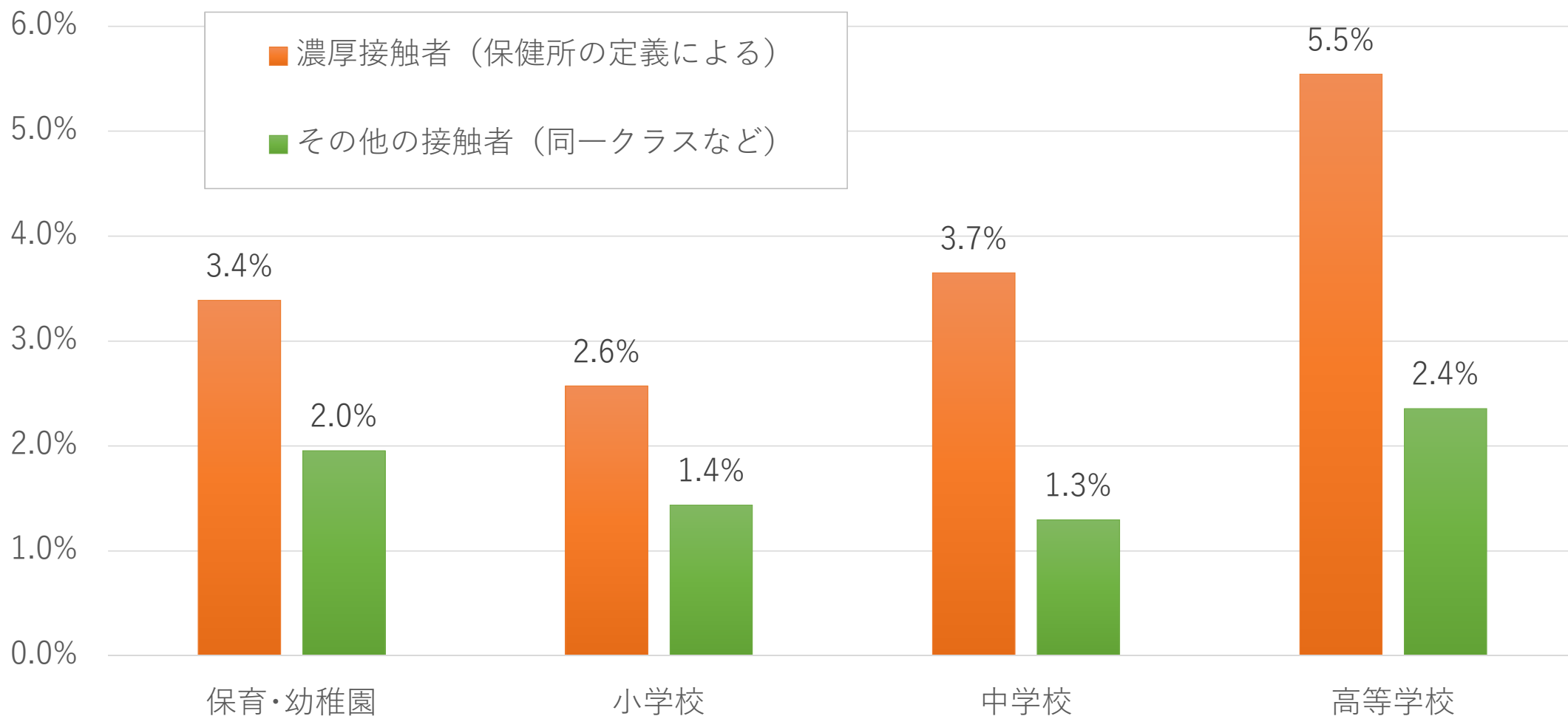


図11 今後 1 週間（3月21日-27日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県
 年齢群別重症化率； 厚生労働省
 平均期間（入院・重症）； HER-SYS

	新規陽性者数（確定日）				入院患者数 ※				重症患者数 ※			
実効再生産数	0.5	1.0	1.5	2.0	0.5	1.0	1.5	2.0	0.5	1.0	1.5	2.0
北部	110	221	445	896	20	22	25	31	0.0	0.0	0.0	0.0
中部	871	1,753	3,530	7,109	47	61	83	119	0.0	0.0	0.0	0.0
那覇市	527	1,062	2,139	4,307	38	48	64	91	1.3	1.3	1.3	1.3
南部	567	1,142	2,300	4,631	36	44	56	78	0.0	0.0	0.0	0.0
宮古	40	81	163	328	5	5	6	7	0.0	0.0	0.0	0.0
八重山	72	144	290	584	9	10	12	15	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	2,186	4,403	8,867	17,855	155	190	246	341	1.3	1.3	1.3	1.4

※ 3月20日時点の見込み数

沖縄県疫学・統計解析委員会